

5 学校関係者評価委員による評価・意見及びそれらを踏まえた学校の対応

自己点検・自己評価資料 (評価内訳 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切)

大項目	評価項目	評価項目 毎自己評 価平均	大項目 総合評 価平均	自己評価概要	学校関係者評価委員による評価・意見	学校関係者評価委員の意見を踏まえた対応
I 教育理念・教育目的	1 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。	3.50	3.38	教育理念や教育目的及び教育目標などについては、毎年、入学生に配布する学校要覧に掲載するほか、年度当初に行うオリエンテーション、個別面談等を実施し、学生の理解を深めている。保護者には、毎年学校案内の送付や保護者会等の場を利用し理解を深めている。また、准看護学校等の学校訪問を行い関係校への周知を図るほかホームページによる情報発信などに努めており、概ね適切と評価した。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校要覧やホームページ等で分かりやすく説明されており、適切であると評価する。 ○ 教育理念・教育目的については学生や保護者、関係業界に向けて学校要覧への掲載、オリエンテーション、保護者会、学校訪問やホームページなど様々な機会をとおして周知されており、昨年度よりも自己評価だけでなく、学生アンケートでも上回っていて、適切であると思われる。 ○ 教育目標は業界のニーズに向けて述べられていると思われる。 ○ 教育理念や目標について、学校案内だけでなくウェブ媒体も活用して広く情報発信がなされている。 ○ 設置主体が宮城県であり、卒業生のほとんどが県内医療機関に就職するなど、宮城県の医療に貢献していることについて示してもいいのではないかとと思う。 	適切との評価をいただきましたが、卒業生のほとんどが県内医療機関に就職するなど、本校が宮城県の医療に貢献していることなどを示すべきとの意見もいただきました。 今後も、教育理念等について学生や保護者等によりわかりやすく、理解を深めていく取り組みを継続していきます。また、ホームページなど広報媒体を活用し、本校卒業生の多くが、看護師、助産師、保健師及び養護教諭として県内の保健・医療・福祉の幅広い分野で活躍していることなども、よりわかりやすく伝えられるよう工夫していきます。
	2 教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3.25				
II 学校運営	1 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3.33	3.00	<p>教育理念等に基づき教育計画を策定し、学校運営の課題等については職員会議及び教務会等で職員と共有しながらの課題解決に当たっている。特に新型コロナウイルス感染症対策においては、臨時職員会議等を随時開催し、教職員間の情報共有を図るとともに、速やかに対応方針を定め学生対応に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により経済的に逼迫する学生に対しては、奨学金制度の斡旋や、本校独自の授業料減免制度及び新たな就学支援制度による授業料等の減免、文部科学省の緊急給付金制度の活用などにより学生への経済的支援に取り組んでおり、概ね適切と評価した。</p> <p>しかしながら、職員アンケートで情報システム化等による業務効率化に関する評価点が低いほか、ホームページによる情報発信が少ないなどの意見もあり、さらなる改善に努めていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運営方針や事業計画については、例えば新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応（感染対策、経済的な支援など）が行われ、課題に速やかに対処することが出来ており、適切であると思われる。 ○ ホームページなどによる情報発信や情報システム化などによる業務の効率化に関しては、引き続き、対策を検討し取り組んでいけると良い。 ○ コロナ禍での運営は、相当の困難と努力を要したものである。 ○ ホームページの工夫は、今後も継続して行ってほしい。 ○ 新型コロナウイルスの影響もあり、活動や計画がその時々で見直されることとなり対応が難しい1年であったと思うが、職員間の連携で学習に遅れがでないよう対応できていたと思われる。 ○ 業務効率化に関しても、職員アンケートの内容をもとに改善できるところから取り組んでほしい。 ○ 教育活動に関する情報公開では、貴校の状況等をもう少し分析し、学校としての強みを出していくことが求められる。 	新型コロナウイルスの感染拡大する中においても、課題に速やかに対応し適切であるとの評価をいただきました。また、ホームページによる情報発信の工夫や業務の効率化については、今後も継続して取り組んでいくようにとの意見も寄せられました。 今後も、ホームページなどを活用した情報発信において、本校の特色が出せるよう校内で検討し改善に努めていきます。また、リモート授業の円滑な運営のためのICT機器の学生への貸与などについて検討を進めるなど、業務の効率化についても継続して取り組んでいきます。
	2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.42				
	3 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	2.83				
	4 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2.42				

大項目	評価項目	評価項目 毎自己評 価平均	大項目 総合評 価平均	自己評価概要	学校関係者評価委員による評価・意見	学校関係者評価委員の意見を踏まえた対応
Ⅲ教育活動	A (目標の設定等)	3.50	3.39	<p>教育理念に基づき教育課程を編成し、各科目のねらい・授業内容・実習の内容・カリキュラム体系を設定の上実施している。カリキュラム体系や成績評価基準については、学校要覧やホームページ等で公表している。看護師国家試験に向けた指導体制やカリキュラムも構築されている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び学内での感染者の発生などにより、休講や臨地実習の中止などを余儀なくされたが、リモート授業の実施や学内実習への変更、土曜開講などカリキュラムを大幅に変更しながら学習内容に遅れが生じないよう工夫して学習機会を確保することができた。</p> <p>学校運営に必用な教員については、本校専任教員に加え外部講師が適宜配置され運営されており、適切と評価した。</p> <p>なお、教職員の資質向上への取り組みにおいては、教職員の研修計画を作成し、計画的に研修会等へ派遣するほか、研修会参加職員の報告の場を設け、新たな知見を職員間で共有を図るなどの取り組みを行ってきたが、職員アンケートでは、昨年同様、業務多忙により学会への参加などが難しいなどの意見もあったことから、さらなる改善に努めていきたい。</p>	<p>○ 「目標の設定等」、「教育方法・評価等」及び「資格試験」に関しては、自己評価も高く、コロナ禍にありながら随時対処し、適切であると思われる。</p> <p>○ 「教職員」に関しての「資質向上」については、対策が検討され、取り組んでいるものの、自己評価が低いとの結果から再度対策を検討し、改善できると良い。</p> <p>○ 教職員の資質向上への努力は継続していく必要はあると思われる。</p> <p>○ カリキュラムの各科目のねらいが明確に記載されている。成績評価においては客観的な指標で評価することで適切かつ公平であると判断できる。</p> <p>○ 近年の看護師国家試験合格率は全国平均を上回っており資格取得に対して良い指導体制にあると思われる。</p> <p>○ 教職員の資質向上については、業務の多忙によるところだけでなく、新型コロナウイルスの影響も研修や学会への参加が難しくなった要因のひとつに挙げられると思われる。</p> <p>○ 休校や実習の中止がありながらも高い国家試験の合格率を誇るなど教職員の指導力の高さがうかがえる。</p>	<p>○ 「目標の設定等」、「教育方法・評価等」及び「資格試験」の対応については、適切であるとの評価をいただきました。しかしながら、「教職員」については、資質向上に向けた対策の見直しを求める意見も寄せられました。</p> <p>○ 教職員の業務は、新型コロナウイルス感染症対応など、多忙な状況にはあるものの、計画的に研修会等へ派遣するほか、研修会参加職員の報告の場を設け、新たな知見を職員間で共有を図るなどの取り組みを継続し、教職員の資質向上に努めていきます。</p>
	1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3.67				
	2 教育理念、育成人材像を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.33				
	B (教育方法・評価等)	3.39				
	1 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3.50				
	2 関連分野における実践的な職業教育(実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	3.58				
	3 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3.08				
	C (資格試験)	3.50				
	1 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.50				
	D (教職員)	3.17				
	1 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3.33				
	2 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3.00				
Ⅳ学修成果	1 就職率の向上が図られているか。	3.50	3.25	<p>令和3年度卒業生全員の就職及び進学先を確定することができ、また、令和3年度の国家試験合格率も100%であり、適切と評価とした。</p> <p>退学率の低減に向けた対応については、学生ごとに担当教員を決め、きめ細やかに相談・支援を行っているものの、退学する学生の事情は、進路の迷いや体調不良等の様々で、それぞれに合わせた相談支援の結果、学生自身が選択したものであり、退学率の推移で一律に状況を判断することは難しい。</p>	<p>○ 国家試験合格率が100%であることから、適切な教育指導がなされていると評価する。</p> <p>○ 退学率については、個々人の希望や適性が関連しており、就職後の早期退職にも関連することなので、学校が評価されているとおりでと感じている。</p> <p>○ 卒業生全員が就職及び進学することが出来たとともに、国家試験合格率も100%と成果をあげている。</p>	<p>○ 国家試験全員合格及び卒業生全員の就職内定について、適切との評価をいただきました。引き続き、学生一人ひとりの実情に合わせたきめ細やかな指導及び支援に努め、国家試験の全員合格及び学生全員の進路実現を目指していきます。</p> <p>○ 退学率がここ数年の中で高い割合となっており、引き続き、細やかな相談・支援を求める意見もあり、今後も、スクールカウンセラー等とも連携し、学生の進路実現に向け、きめ細やかな相談や支援を行っていきます。</p>

大項目	評価項目	評価項目 毎自己評 価平均	大項目 総合評 価平均	自己評価概要	学校関係者評価委員による評価・意見	学校関係者評価委員の意見を踏まえた対応
	2 資格取得率の向上が図られているか。	3.42			<p>○ 退学率に関してはここ数年の中で高い割合となっている。退学の要因が様々であることから低減は困難であると思われるが、引き続き、細やかな相談・支援を行うことを期待する。</p> <p>○ 学生個々の背景は様々で、教職員の努力、苦勞は計り知れませんが、令和3年度の成果は評価に値するものと思われる。きめ細かな対応がとても大切だと思われる。</p> <p>○ 卒業生全員が内定や進学先を確定することができており、教員がしっかりと学生のことをサポートできている結果だと思われる。</p> <p>○ 退学率の低減に関しては、自己評価にもありとおり、退学の原因が学校側の支援不足というものだけではではないと思うため、退学率の推移だけで評価することは難しい。</p>	
	3 退学率の低減が図られているか。	2.83				
V 学生支援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3.58	3.47	<p>学生への進路・就職については、個別相談などにより支援を行っている。また、生活や学習上の悩み等については、教員が個別面談を行うほか、月2回スクールカウンセラーによる相談を行った。保護者との連携については、出席者は限られたものの保護者会を開催し、教育の状況について説明を行った。また、特に指導の必要な学生については保護者を交えて修学指導を行っており、全体として適切と評価した。</p>	<p>○ 学生支援については、自己評価や学生アンケートの学生指導の結果が前年度より高くなり、適切であると思われる。</p> <p>○ 保護者との連携に関しても適切であると思われる。</p> <p>○ 今後も継続した対応が必要と思う。</p> <p>○ 学生への個別面談以外にも保護者との面談の機会を設けるなどして学生支援に努めている。</p> <p>○ 外部からのスクールカウンセラーも介入しており、支援状況は適切であり、就職・進学率の結果に表れている。</p>	<p>適切であるとの評価をいただきました。引き続き学生個々の実情に合わせた相談・支援を行っていきます。</p>
	2 学生相談に関する体制は整備されているか。	3.42				
	3 保護者と適切に連携しているか。	3.42				
VI 教育環境	1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	2.83	3.08	<p>設置基準を満たしているものの、現在の施設は建設から30年以上経過し、老朽化により修繕箇所も多く発生している。施設修繕については、随時対応しているが、予算の上限もあり修繕箇所の状況により早急な対応ができない場合もある。しかしながら、全体として、教育活動に影響を及ぼさないように管理されており、適切と評価した。今後も、閉校までの期間が短くなっているが、学習環境に影響しないよう適宜修繕等を行い施設の適正管理に努めていく。</p>	<p>○ 新興感染症の発生により、臨地実習の急な中止及び変更等に柔軟に対応していた。実習施設と密に連携を取り、制限がある中でも学生が適切に学べる環境の提供に尽力していた。</p> <p>○ 教育環境については、施設・設備は老朽化しており、予算など制限があることから限界があるが、修繕など随時対応していることから、引き続き、対処してほしいと思う。</p> <p>○ 学内外の実習施設の教育体制の整備については、閉校までの期間が短いことや学生アンケート調査では自由意見の中に特にICT機器に関する記載はないことからコロナ禍ではあるがICT機器の充実に関してはできるところでの対応でよいのではないかとと思われる。</p>	<p>老朽化により学習環境に影響しないよう対応してほしい、閉校までの間も、管理体制を継続してほしい旨の意見をいただきました。</p> <p>閉校までの間、学習環境に影響しないよう施設の適正管理に努めていきます。また、ICT機器の充実(学生へのICT機器の貸与など)については、学生個々の学習環境等も踏まえながら今後検討していきます。</p>

大項目	評価項目	評価項目 毎自己評 価平均	大項目 総合評 価平均	自己評価概要	学校関係者評価委員による評価・意見	学校関係者評価委員の意見を踏まえた対応
	2 学内外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか。	3.33		なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりリモート授業を行う場合があるが、パソコンやタブレットを保有しておらず、スマホにより視聴している学生もあり、ICT機器の充実を望む声もあり、今後対応を検討していく必要がある。	○ 学生、教職員の安全が何よりも大切である。閉校までの間も、管理体制を継続して欲しい。 ○ 老朽化に関しては、県からの予算の都合もあるため対応が難しいところがあるが、学習環境に影響しないよう適宜調整してほしい。 ○ ICT機器の充実で学習環境が整うことに繋がるが、学校側だけの対応では困難な部分もあると言える。	
Ⅶ 学生募集と受入	1 准看護養成所等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか。	3.50	3.59	県内准看護学校には、入学案内や募集要項を持参してPRに努めているほか、東北6県の関係校にも郵送して県外からの入学生も募集している。また、オープンスクールについては、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響から実施できなかった。受験者数については、毎年減少傾向にあったことから、本年度、受験生の受験環境を改善するため、新たに推薦入試制度を導入したほか、一般入試の受験科目の見直しや受験日を土曜日に設定するなどの改善を行った。その結果、定数40人に対し、推薦及び一般入試併せて70人の応募があり、適切と評価した。	○ 学生募集の受け入れに関しては、オープンスクールは出来なかったとしても推薦入試の導入などに取り組み、成果をあげていると思われる。 ○ 推薦入試制度の導入や一般入試の受験科目の見直し、受験日を土曜日に設定するなどの改善が行われている。改善した部分もうまくPRできた結果、70人の応募に繋がっている。	令和4年度入学生の募集(昨年度実施入学試験)が最後の入学試験となりましたが、推薦入試制度の導入や一般入試の見直しを行ったことにより応募者数が増え、評価していただきました。
	2 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。	3.67				
Ⅷ 法令の遵守	1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.83	3.54	法令及び看護師養成施設設置基準等を遵守し運営されており、適切と評価した。 しかしながら、前年度自己評価で改善すべきとの意見があったホームページによる情報発信については、改善がみられるもののまだ不十分との意見もあり、さらなる改善に努めていきたい。	○ 適切であり、引き続き取り組んでいくことを期待する。 ○ 閉校まで、継続した改善策に努めてほしい。 ○ 法令及び看護師養成施設設置基準等を遵守し運営されている。 ○ ホームページでも自己評価結果の情報公開もされており評価は適切であるといえる。	適切であるとの評価をいただきました。 閉校まで、随時改善に努めながら適切な学校運営に努めていきます。
	2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3.67				
	3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3.25				
	4 自己評価結果を公開しているか。	3.42				